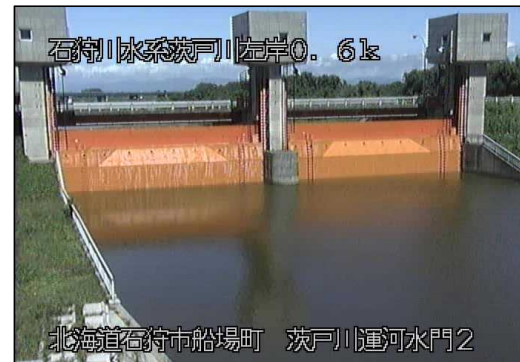


【治水事業の効果】石狩放水路による水位低減効果

○令和4年8月15日～19日、前線に伴う降雨により、石狩川の水位が上昇しました。
 ○石狩川から茨戸川への逆流による浸水被害を防止・軽減するため、運河水門を閉扉し石狩川の影響を遮断するとともに、石狩放水路から茨戸川の洪水を日本海に放流し、茨戸川の水位を低下させました。
 ○これらの操作によって、**茨戸川の水位を約0.6m低下させ、約320haの浸水被害を防止したと推測されます。**

◆ 令和4年8月洪水の概要

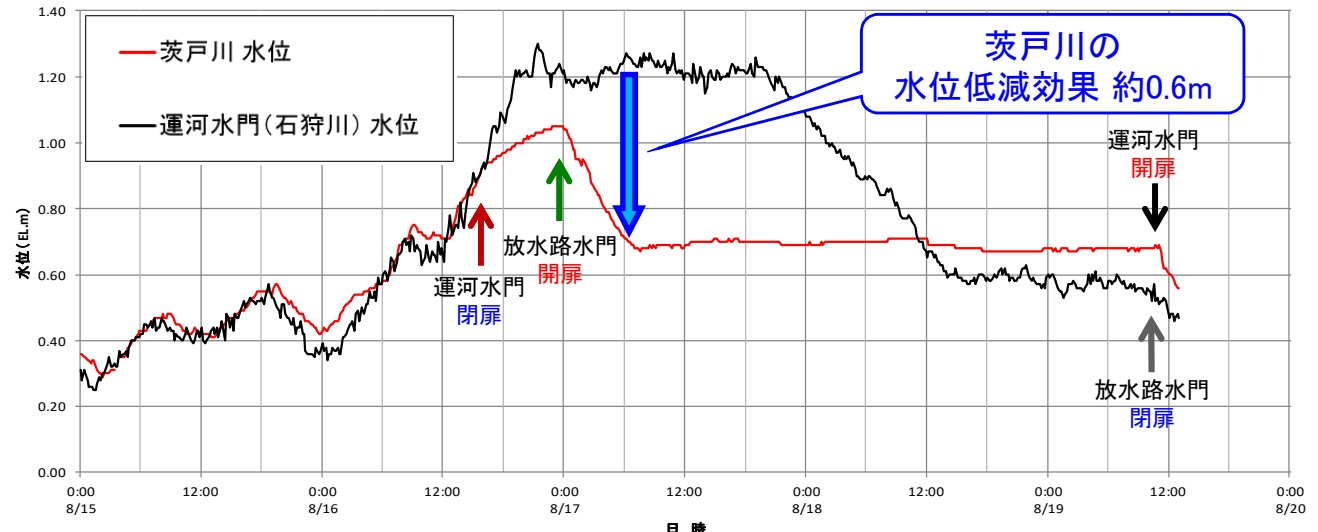
- ・降雨量 札幌105mm (札幌(気象)8月15日20:50～16日21:00)
- ・石狩放水路からの放流量 約 530万m³ (8月16日23:01～19日9:45)
- ・茨戸川水位低減効果 約 0.6m (茨戸大橋下流地点)



運河水門 閉扉状況



石狩放水路水門 放流状況



※8月19日13時00分までのデータをもとに作成
 ※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

※浸水の可能性がある区域は想定です